



イーレックス株式会社[9517]

中期経営計画  
(2023年3月期～2025年3月期)

1

ADVANCE100の振り返り

2

基本方針

3

業績目標

4

投資方針

# 1. ADVANCE100の振り返り



# 中期経営計画(2019-2021年度)の振り返り

## 最終年度目標

中期経営計画「Advance100」  
テーマ：コアビジネスの強化と展開

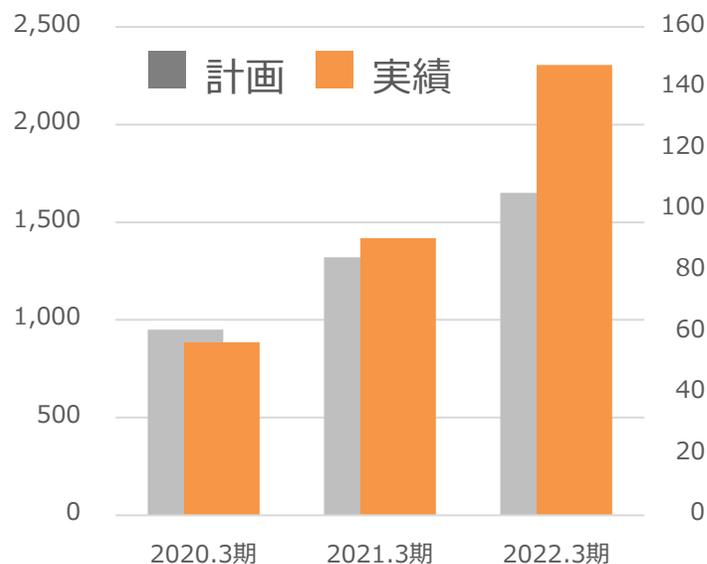
2022年3月期 経常利益 **100億円**

## 達成状況

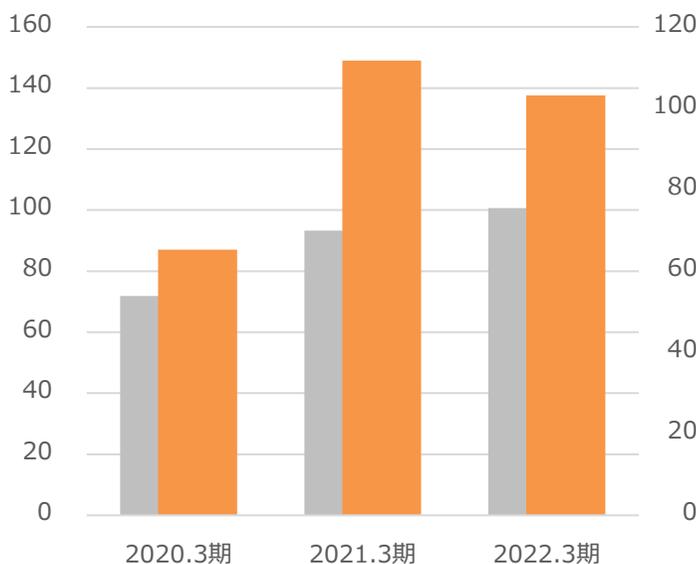
計画前倒しで2021年3月期に  
経常利益 **100億円** 達成

2022年3月期においても計画を上振れ  
経常利益 **138億円** で着地

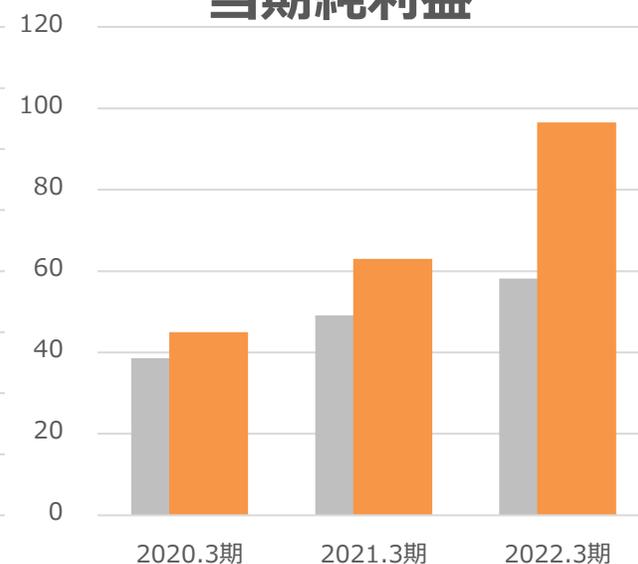
### 売上高



### 経常利益



### 親会社株主に帰属する 当期純利益



- 既存事業での収益最大化と並行し、次なる成長に向けた新たな取組みにも着手
- 2022年3月期は石炭火カトランジション事業、ベトナム事業、DR事業の検討に注力

## 燃料

- ・既存FIT向けの安定的な燃料調達
- ・バイオマス新燃料の開発
- ・バイオマス燃料トップランナーとしての持続可能性の確認(認証対応)

## 電力小売・トレーディング

- ・順調な拡販とM&Aでの業容拡大
- ・多様なトレーディングによる収益安定化の実現
- ・売価/販売量の適正化によるリスク管理

## 発電

- ・国内バイオマス発電設備の増加(5基体制)
- ・石炭火カトランジション事業への着手
- ・安定稼働による収益最大化

## 海外・R&D

- ・カンボジア、ベトナムでのプロジェクト
- ・その他アジア圏における案件開拓
- ・水素関連事業の実証等に向けた準備

## 2. 基本方針



- 今後、脱炭素下におけるコスト競争の激化に加えて、エネルギーの供給力確保が国家レベルでの課題となる
- 競争を勝ち抜くためには、自社での供給力確保が最重要課題
- 当社はバイオマス燃料及びバイオマスを中心とする再エネ発電事業を上記課題への最適解と位置づけ、積極投資することで競争力あるエネルギー供給を実現する
- エネルギー確保に係る課題は新興国で顕著であり、本中計期間以降は海外展開が成長ドライバーとなる

- 本中計期間はグローバルで脱炭素とエネルギーの安定確保の両立を実現する「脱炭素Phase」の序盤と位置付け、人材確保や財務基盤/技術力の強化を実施

## 自由化 Phase

自由化進展による  
国内での急成長

- 燃料**・安定調達
- 発電**・FIT電源増
- トレーディング**  
・需要に対応した安定調達
- 電力小売**・全国での拡販

コアビジネスの強化と展開

バリューチェーンの構築

過去10年

## 脱炭素 Phase I

事業基盤の強化と  
次なる成長投資



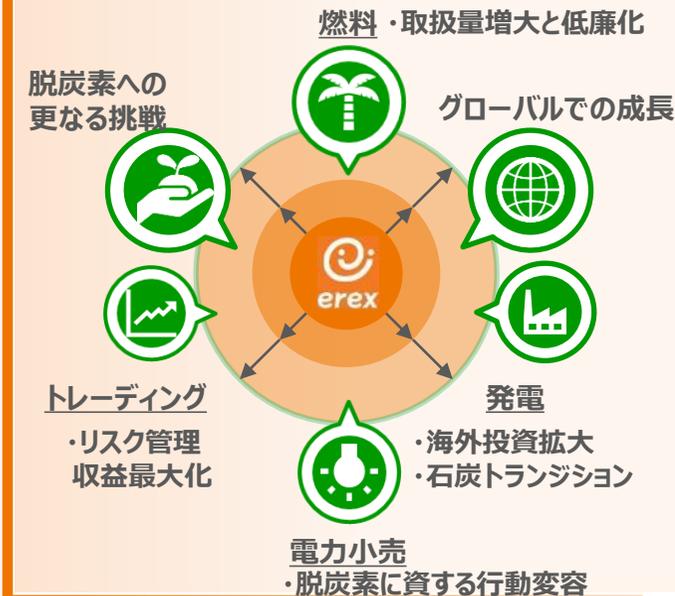
本中計期間 +α

新局面への対応

再エネ間の競争激化、イノベーション

## 脱炭素 Phase II

グローバルな  
脱炭素への貢献



2030年~CN※

CNへの更なる挑戦

※カーボンニュートラル

## 本中計期間は新局面に向けた事業基盤の構築期間

経常利益

- ①共創 … 様々なステークホルダーとの連携強化(JV/M&A)
- ②技術 … 新事業/R&Dへの果敢な挑戦による知見獲得
- ③人材 … 自律的なキャリア形成の促進、高付加価値人材の育成
- ④資金 … ファイナンス手法の多様化、既存事業の安定運営による財務基盤の強化



## 脱炭素に向けた 新たなイノベーションを起こす

### 国内外での脱炭素への貢献

- ◆ 石炭火力のトランジション(日本/ベトナム)
- ◆ 新燃料開発によるイノベーション
- ◆ バイオマス以外の再エネへの投資

### 小売関連事業の再構築

- ◆ 脱炭素ソリューションの拡充
- ◆ 売価・販売量の最適化
- ◆ 従来型の小売モデルからの脱却

### 2050年 CNに向けた布石

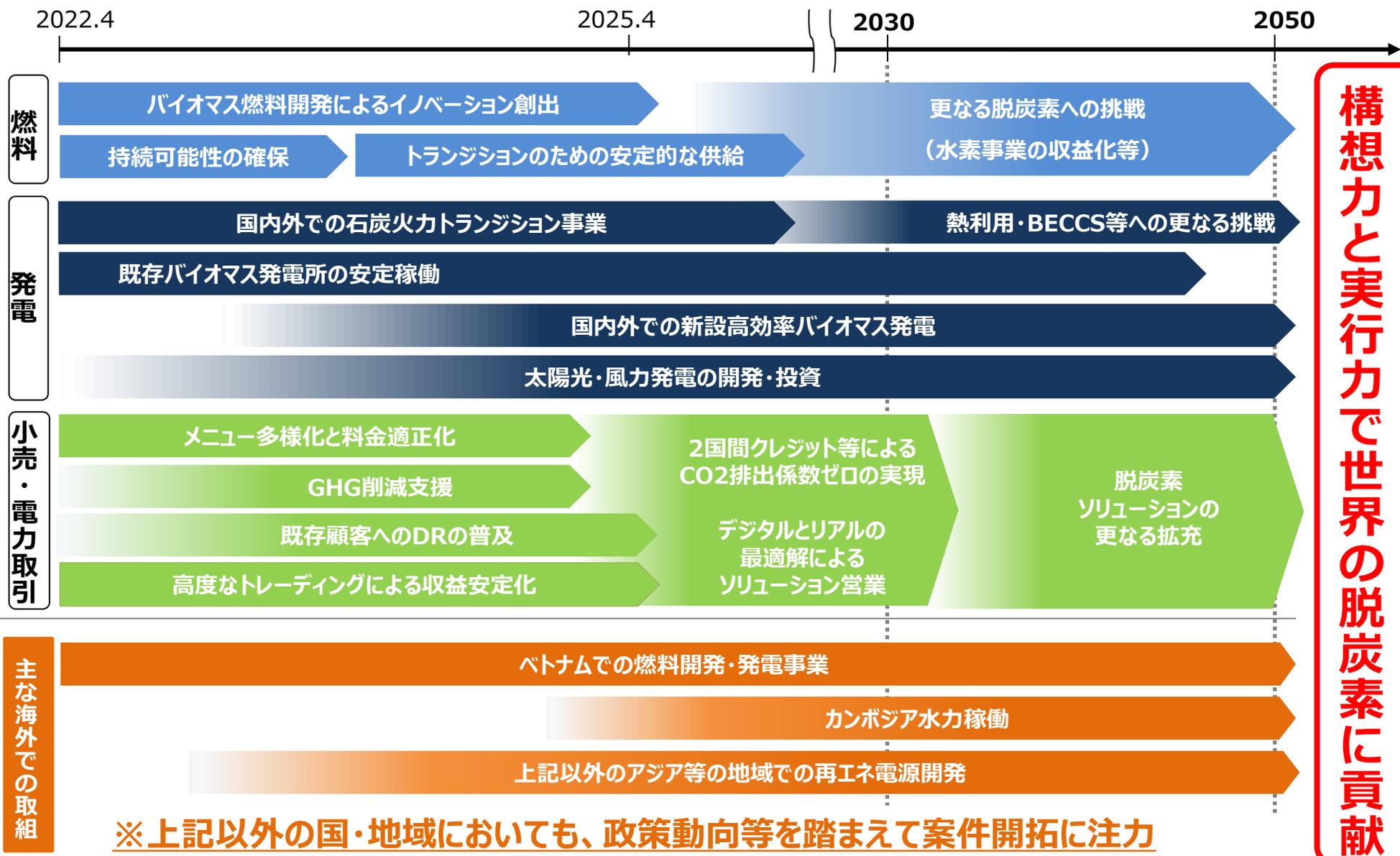
- ◆ カーボンニュートラル(CN)を意識した発電・小売のバリューチェーン強化
- ◆ 水素事業の実証、収益化
- ◆ 更なる脱炭素への挑戦 (BECCS等)

### 効率的運営とリスク管理

- ◆ 少数精鋭を基本とした効率的運営
- ◆ 構想力・実行力の向上を意識した人材育成
- ◆ 事業のスピード感とリスク管理を両立

**2050年 カーボンニュートラルからのバックキャストの視点で  
基盤となる既存事業の着実な強化と新領域への投資を進める**

# 中長期ロードマップ



- 既存事業の安定運営と新たな取り組みにより更なる成長を目指す
- 国内外における更なるコアビジネスの強化と展開

## 燃料

- ・自社向けの安定的な燃料調達
- ・バイオマス新燃料によるイノベーション
- ・外販も視野に入れた取扱高の増大

## 電力小売・トレーディング

- ・売価/販売量の適正化と小売事業の変革
- ・自社供給力とトレーディングを駆使した調達最適化
- ・DR等の需要側での新たな取り組み

## 発電

- ・石炭火カトランジション事業の推進
- ・既存設備の安定稼働と効率的運営
- ・新設バイオマス発電の海外展開

## 海外・R&D

- ・ベトナムでの大規模燃料開発
- ・ベトナム、カンボジア、他アジアでの発電事業の推進
- ・水素事業の実証及び収益化に向けた検討

# 3. 業績目標



- 燃料・発電・小売の事業規模最適化による収益安定化
- 社会情勢や市況の急激な変化を見据え、これまで以上にリスク管理を意識
- 安定的な配当を基本とし、経営目標に対する進捗と成長投資とのバランスを考慮

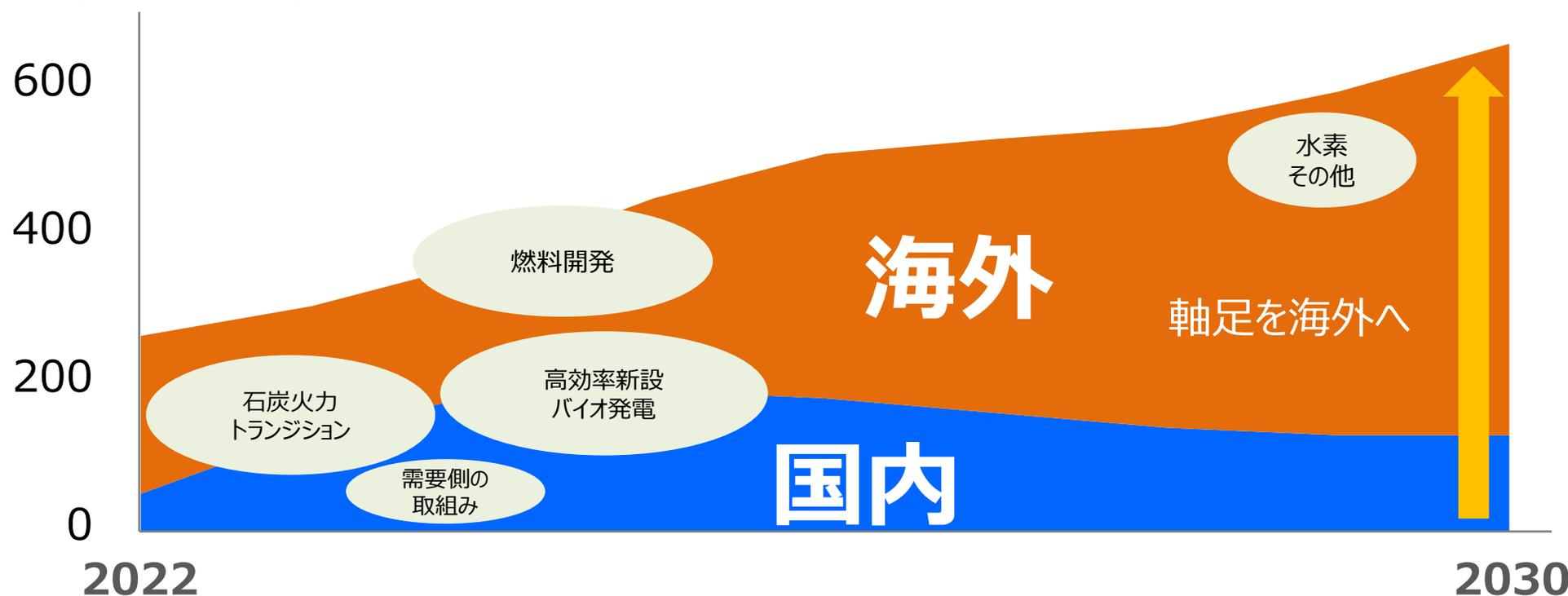
(単位: 億円)	2022.3期 (実績)	2023.3期	2024.3期	2025.3期
売上高	2,305	2,056	2,573	3,325
営業利益	125	149	155	198
経常利益	138	147	158	204
親会社に帰属する 当期純利益	97	80	100	115

# 4. 投資方針



- 脱炭素社会の実現に向けて石炭火力トランジション、新設高効率バイオマス発電、燃料開発への投資を実行
- 各種プロジェクトには多様なファイナンス手法で対応

投資額(単位: 億円)



# erex

**ENERGY RESOURCE EXCHANGE**